

ナショナルチーム強化計画

2020年

(シニアナショナルチーム)



(公財)全日本空手道連盟選手強化委員会

※本計画は「ナショナルチーム選考基準」(H29. 12. 8施行)第5条(内定・決定と取り消し)に基づく「ナショナルチーム強化計画」である。

【ナショナルチーム基本理念】

この世に生まれ空手道に出会い、万物への感謝の気持ちを胸に、どんなに苦しく厳しいことがあっても、それを受け入れ、乗り越え、「人間力を高める」ことが最も重要であると認識し、正々堂々、全力で挑み続けることで、世界中に夢や感動、勇気や希望を届けるとともに、世界平和に貢献し、一度の人生、空手道を通じ、悔いなく、心豊かに生きることを目指す。

【本計画の概要】

我らが日本代表選手を

**最高の状態でオリンピックに送り出す！！
世界選手権で世界一を達成する！**

ための施策

～ オリンピック代表選手決定まで、そして
決定以降の直前強化と2020年強化スケジュール～

【目次】

- I 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)
日本代表選手選考基準
- II 2020年ナショナルチーム指定期間
- III 2020年ナショナルチーム選手
- IV 強化フェーズ(期間)
- V 大会派遣・強化計画

I 「第32回オリンピック競技大会 (2020/東京) 日本代表選手選考基準」

※本基準は、平成30年12月に公表した「2019年度ナショナルチーム強化計画」を前提に選考過程を具体化したものである。

※令和元年9月24日に本連盟ホームページにて公表

1. 位置づけ

この選考基準は「ナショナルチーム選考基準」(H29. 12.8施行)に示す「ナショナルチーム強化計画」に基づく基準である。

2. 目的

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)(以下東京2020大会)において最大の目標を達成するため、日本代表選手の選考基準を明確にし、(公財)全日本空手道連盟(以下JKF)会員、関係者が共通理解のもと一丸となって目標に邁進することを目的とする。

3. 選考基準

(1) 2019年度ナショナルチーム強化計画※1に基づき選考する

- ① 2020年1月1日時点で、TOKYO2020スタンディング(以下オリンピックスタンディング)各階級上位2名(国内)の選手を「集中強化指定選手」として選定する。
- ② 2019年9月開催プレミアリーグ東京大会終了後、10月1日時点でオリンピックスタンディングトップ選手(国内1位)と2位選手(国内2位)の点差が2000点(オリンピックスタンディング)以上の場合、10月1日時点でトップ選手を「集中強化指定選手」として選定する。
- ③ 2020年1月1日から日本代表候補選手が開催国枠※2として内定する4月6日の期間に開催されるプレミアリーグ、シリーズAへの参加は、派遣、自費問わず集中強化指定選手のみとする。

(2) 東京2020大会日本代表選手選考過程

- ① 2020年1月1日から4月6日までの集中強化指定選手のプレミアリーグ、シリーズAへの派遣計画を示す。
- ② 集中強化指定選手を下記の大会※3に派遣する。
 - ア. プレミアリーグパリ大会 2020年1月24日～26日
 - イ. プレミアリーグザルツブルグ大会 2020年2月28日～3月1日
 - ウ. プレミアリーグラバト大会 2020年3月13日～15日※集中強化指定選手のコンディション確保の観点から下記大会には派遣しない
 - エ. シリーズAサンチアゴ大会 2020年1月10日～12日
 - オ. プレミアリーグドバイ大会 2020年2月14日～16日
- ③ 集中強化指定選手が選定され上記派遣大会の結果を待たず、2位の選手が1位の選手をオリンピックスタンディングで上回れないと確認できた下記※の時点で、JKFは、集中強化指定選手の内、1位の選手を日本代表候補選手に内定する。その時点で、2位の選手を日本代表候補補欠選手とする。

※上記②ア・イ・ウの大会で取得可能な獲得ポイントを換算して2位選手が1位選手を上回れないと確認した場合とは以下の差が認められた場合をいう。

- ・プレミアリーグパリ大会 2020年1月24日～26日の後、2,000ポイント以上
- ・プレミアリーグザルツブルグ大会 2020年2月28日～3月1日 の後、1,000ポイント以上

- ④ 選手が内定してからの日本代表候補選手の大会派遣は、選手のコンディションを鑑みながら選手強化委員会で検討、実施する。
- ⑤ 東京2020大会の日本代表候補選手は、世界空手連盟(以下WKFF)が定める「第32回オリンピックアード競技大会 選考過程 (QUALIFICATION SYSTEM-GAMES OF THE XXX II OLYMPIAD-TOKYO2020)」に基づき、2020年4月6日時点でのオリンピックスタンディングが最も高い選手に決定されることをもって、正式決定とする。

- ⑥ 選手が日本代表候補選手に内定または、決定してから、同選手が何らかの事象により東京2020大会に出場できない事態が生じた場合、日本代表候補補欠選手を内定もしくは、4月6日以降は、決定選手に繰り上げる場合がある。※4
- ⑦ 2020年1月1日時点でオリンピックスタンディング各階級の国内3位、4位を準集中強化指定選手に選定する。但し、準集中強化指定選手の間は、上記②にある大会には派遣しない。
- ⑧ 2020年1月1日以降、集中強化指定選手(2名)に上記⑥にある事象が生じた場合、準集中強化指定選手が、集中強化指定選手に繰り上がる場合がある。この場合、準集中強化指定選手のうち、2020年1月1日時点でオリンピックスタンディング各階級の国内3位の選手が同4位の選手に優先して集中強化指定選手に繰り上がる。

※1「2019年度ナショナルチーム強化計画」

- ・平成30年10月6日常任理事会承認
- ・平成30年12月8日全日本空手道選手権大会監督会議説明
- ・平成30年12月13日(公財)全日本空手道連盟ホームページ掲載

※2「開催国枠」…WKFが「第32回オリンピックアード競技大会 選考過程」に記載
(5ページ)

「…2020年4月6日現在のオリンピックスタンディングが最も高い選手に割り当てられる。…」

※3「大会」…プレミアリーグ・シリーズAの参加資格はWKFの定める条件を満たしていれば参加できるが、JKFとして、2020年1月から4月6日までに開催される同大会の参加対象を、本基準に基づき集中強化指定選手のみとする。

※4…選手の最終決定は、(公財)全日本空手道連盟が日本代表候補選手を決定した後、JOCに推薦、同委員会の理事会で承認され、最終決定となる。

Ⅱ 2020年ナショナルチーム指定期間

2020年1月～2020年12月31日

Ⅲ. 2020年ナショナルチーム選手

1.集中強化指定選手(選考会免除選手)

- ・2020年1月時点のオリンピックスタンディング各階級上位2名

2.準集中強化指定選手(選考会免除選手)

- ・2020年1月時点のオリンピックスタンディング各階級上位3位、4位

3.強化選手(選考会免除選手)

- ・第47回全日本空手道選手権大会の組手、形個人戦優勝者
- ・第63回全日本学生空手道選手権大会の組手個人戦優勝者
- ・第16回アジアシニア空手道選手権大会団体形金メダリスト
- ・第11回世界U21空手道選手権大会日本代表選手(U21の組手、形)
- ・全自衛隊空手道連盟が推薦し当連盟が認めた選手

4.強化選手選考会により選出された選手

- ・選考会を行い原則各階級1名を選出

期日：2019年12月19日～21日

会場：日本空手道会館

IV. 強化フェーズ(期間)

※4段階に分けての強化

第1フェーズ 2020年1月1日～4月5日

第2フェーズ 2020年4月6日～7月下旬

第3フェーズ 2020年7月下旬～東京2020大会本番

第4フェーズ 東京2020大会以降
アジア空手道選手権大会(以下アジア大会という)
世界空手道選手権大会(以下世界大会という)
に向けた強化

V. 大会派遣・強化計画

第1フェーズ プレミアリーグ(以下PLという)パリ大会(1/24~26)

PLザルツブルグ大会(2/14~16)

PLラバト大会(2/18~3/1)

対象:集中強化指定選手もしくはオリンピック日本代表候補(内定)選手のみ
団体形の自費参加は除く

※ SAサンチアゴ大会(1/10~12) PLドバイ大会(2/14~16)には派遣しない。
団体形の自費参加は除く

※日本代表候補選手(内定)は練習パートナーを拠点合宿、大会などに
帯同できる

「第32回オリンピック競技大会(2020/東京)日本代表選手選考基準 3.(1).③」

2020年1月1日から日本代表候補選手が開催国枠※2として内定する4月6日の期間に開催される
プレミアリーグ、シリーズAへの参加は、派遣、自費問わず集中強化指定選手のみとする。

第2フェーズ シリーズA(以下SAという)イスタンブール大会(6/19~21)

※日本代表候補選手が決定した4月6日以降に開催される、PL, SAについては派遣の他に自費参加も認める。

第3フェーズ 東京2020大会(8/6~8)

第4フェーズ アジア大会(9/4~6:バリ)世界大会(11/17~22:ドバイ)

〔第1フェーズ:2020年1月～4月5日 全体合宿と拠点強化〕

- ・2020年1月に全体合宿を行う
- ・2020年1月以降は拠点強化の日数を原則14日/1月とする

〔第2フェーズ:2020年4月6日～7月下旬 直前強化〕

- ・2020年4月以降の拠点強化に日数制限を設けない
- ・代表選手合宿(4月)※所属長も召集
- ・地方強化合宿・組手代表合宿(5月)
- ・国際大会最終派遣(6月)
- ・国際強化合宿(6月)
- ・組手代表強化合宿(7月)
- ・最終強化合宿(7月)

〔第3フェーズ:2020年7月下旬～東京2020大会本番 直前調整〕

- ・直前調整(8/1～8/5)の実施場所を策定。
設備、人員、セキュリティなど。

〔第4フェーズ:2020年東京2020大会以降～12月下旬 世界大会強化〕

- ・アジア大会代表選考後～アジア代表合宿
- ・世界大会代表選考会及び世界代表合宿

〔2020年強化スケジュール(案)〕 ※合宿等は予定につき変更もあり

2019年12/19-21	ナショナルチーム選考会
1月	第1回全体合宿
1/24-26	PLパリ大会(連盟派遣)
2/28-3/1	PLザルツブルグ大会(連盟派遣)
3/13-15	PLラバト大会(連盟派遣)
4/6	オリンピック日本代表候補決定
4/7-8/5	直前強化策の実行
6月	アジア大会代表選考会
8/6-8	東京2020大会
8月	アジア大会代表合宿
9/4-6	アジア大会(バリ)
9月	世界大会代表選考会
10/30-11/1	世界大会代表合宿
11/15-22	世界大会(ドバイ)

〔アジア大会、世界大会代表選考(案)〕 ※要項は今後作成

・アジア大会代表選考

対象：2020年ナショナルチーム(シニア)

日時：6月

※東京2020大会代表選手も出場意向の場合は選考会対象に

※団体組手メンバーは上記対象者以外で選手強化委員会の推薦する選手を選考に参加させることができる。

・世界大会代表選考

対象：2020年ナショナルチーム(シニア)

日時：9月

※東京2020大会決勝進出者は世界大会代表

※アジア大会金メダル獲得者は世界大会代表

(東京2020大会決勝進出者とアジア大会金メダル獲得者が異なる場合は、東京2020大会決勝進出者が世界大会代表)

※団体組手メンバーは上記対象者以外で選手強化委員会の推薦する選手を選考に参加させることができる。

〔日本代表候補選手(内定)練習パートナー〕

対象：日本代表候補(内定)選手

期間：2020年1月～8月

選出方法：代表内定者は練習パートナーを選定し、
大会、合宿などに帯同する

〔東京2020大会シード権獲得〕

対象：4月6日を待たずに代表内定した選手

※シード権獲得のためPL、SA大会への派遣検討